

参加費
無料
※事前申込み不要

性暴力による 被害の実態

～被害者への支援のあり方を考える～



性暴力が関係する事件においては、被害者に偏見や誤解の目が向けられることも多く、その精神的・肉体的な被害は甚大です。そのため、性暴力の被害者を支援するためには、弁護士、医療等の専門家、警察等の関係機関による幅広い連携が不可欠です。北海道では、平成24年10月に性暴力被害者支援センター北海道(通称「さくらこ」)が開設されましたが、支援者となつがれない被害者も数多くいるのが現状です。

そこで、このシンポジウムでは、性暴力被害の実態や被害者の心理、被害者が直面する問題等を知り、被害者への支援のあり方を共に考える機会にしたいと思います。

日時 2016年7月22日(金) 9:00～12:00

場所 札幌プリンスホテル国際館パミール6階
(札幌市中央区南3条西12丁目)

プログラム

[第1部] 支援実例報告

①「旭川地裁での性犯罪裁判員裁判(無期懲役判決)への被害者参加事例から」

..... 弁護士/旭川弁護士会所属 中村 元弥 氏

②「幼少時の性的虐待事案における損害賠償請求訴訟の代理人として」

..... 弁護士/釧路弁護士会所属 篠田奈保子 氏

③「さくらこSACRACH利用者支援の実態について」

..... 産婦人科医/NPO法人ゆいネット北海道理事長 堀本 江美 氏

[第2部] 基調講演

「最高裁逆転判決とレイプ神話 — 公判を見すえた被害者支援」

..... 帯広畜産大学教授 杉田 聡 氏

[第3部] パネルディスカッション

パネリスト

- 帯広畜産大学教授..... 杉田 聡 氏
- 産婦人科医..... 堀本 江美 氏
- 臨床心理士/
北海道警察本部犯罪被害者支援室..... 前田 幸子 氏
- 弁護士..... 中村 元弥 氏

コーディネーター

弁護士・札幌弁護士会所属..... 須田布美子 氏